

①当共済組合全体の重点取組事項

疾病特性の区分	共済組合全体の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業		事業目的	法定事業（●） 支援金加減算対象	当共済組合全体の重点取組事項	支部で今後必要と考える事業	これまでの支部事業
生活習慣病 (タイプ1)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・特定保健指導の実施率向上 ・組合員等の利便を考慮した実施体制の整備及び周知 ・事業主健診の結果授受その他の事業者との間の事務を円滑に行うための所要の整備 ・個人に合わせた情報提供の拡充及び実施方法の工夫（必要に応じICTを活用） ・LDLとHbA1cについて優先的に改善 ・若年層に対し健康増進に寄与する事業を推進 	1-1	特定健康診査 (事業主健診結果授受・人間ドック)	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、特定保健指導をはじめとした各種予防対策を必要とする者を的確に選別すること。	●	○	○	○
		1-2	特定保健指導 【1次予防】	対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行い、これを通じて生活習慣病に移行させないこと。 (医療費の適正化)	●	○	○	○
		1-3	個別性の高い情報提供（ICTの活用を含む） 【1次予防】	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、健康な生活習慣の重要性に対する理解と関心を深め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけとなるよう意識づけを行うこと。 (健康行動への意識づけ)	○	○	40歳以上	
		1-4	生活習慣病に関する意識啓発 【1・2・3次予防】	参加者が生活習慣病予防に関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そして生活習慣病予防に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。			○	○
		1-5	医療機関の受診勧奨 【2次予防】	対象者が健診結果から自らの健康状況を強く認識し、生活習慣病の早期治療の開始（医療機関の受診）や、生活習慣の改善行動に繋がるよう促すこと。 (高額医療への発展リスクの低減/生涯医療費の抑制)	○		○	
		1-6	重症化予防 【3次予防】	既に治療を開始している対象者において、かかりつけ医と連携し、身体機能の維持に必要な自己管理の指導及び助言を行い、これを通じて慢性疾患の重症化や合併症の発症・再発を防止すること。	○			
		1-7	40歳未満に対する人間ドック・保健指導	生活習慣病リスクの早期発見の機会提供を行うとともに、対象者の個別の状況に応じ必要な指導及び助言を行うことで、40歳に到達したときにメタボリックシンドローム及びその予備群に該当しないこと。			○	○

疾病特性の区分	対策の方向性	左記方向性に基づき必要と考えられる保健事業	事業目的	法定事業（○） 支援金加減算対象	当共済組合 全体の重点 取組事項	支部で今後必 要と考える事業	これまでの 支部事業	
(続き)	※今回、1-8～12について注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	1-8	運動習慣づくりの支援	運動施設の利用等を通じて、運動習慣を継続するための機会を提供すること。	○	○	○	
		1-9	飲酒が健康に与える影響についての意識啓発	飲酒が健康に与える影響に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして節酒に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	
		1-10	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の認知度の向上	組合員等が広報等を通じてCOPDに関する知識を獲得し、自ら予防に取り組むよう誘導すること。		○		
		1-11	禁煙についての意識啓発	組合員等が禁煙に関する必要な知識を獲得して、必要な意志決定ができるように、そして禁煙に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。	○	○		
		1-12	禁煙支援	喫煙者に禁煙プログラムへの参加や禁煙外来の助成、禁煙補助薬の配付・助成を通じて、禁煙を開始させ、定着化させること。	○	○		
悪性新生物 (タイプ2)	・特に婦人がん検診の拡充	2-1	胃がん検診	胃がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-2	大腸がん検診	大腸がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-3	肺がん検診	肺がんの早期発見の機会提供を行うこと。			○	○
		2-4	乳がん検診	乳がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○	○
		2-5	子宮頸がん検診	子宮頸がんの早期発見の機会提供を行うこと。		○	○	○
		2-6	その他のがん検診	上記5大がん以外のがんの早期発見の機会提供を行うこと。	○		○	○
		2-7	がんに関する意識啓発	組合員等が婦人がんを始めとしたがんに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、また、がんの予防及び早期発見に自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	○
精神の疾病 (タイプ3)	・法定のストレスチェック受検後のフォローアップに活用することを意識	3-1	メンタルヘルス相談	メンタルヘルスに関する個別の相談に応じ必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。	○	○	○	○
		3-2	メンタルヘルスに関する意識啓発	参加者（一般の組合員等/管理監督者）がメンタルヘルスクアに関する必要な知識を獲得し、必要な意志決定ができるように、そしてメンタルヘルスクアに自ら積極的に取り組む実行力を身につけることができるように援助すること。		○	○	○
		3-3	ストレスチェック（心の健康チェック事業）	メンタルヘルス不調の気付きを促すとともに、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげること。（ストレスチェックは事業者が実施義務があるため、共済組合はそれを支援する。）		○	○	○
歯の疾病 (タイプ3)	※今回、歯科に注目した分析は行っていないが、当共済組合における重点取組事項としている。	3-4	歯の喪失防止についての意識啓発	発生する年代・性別に応じて歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報発信及び保健物資の配付を行うこと。		○	○	○
		3-5	歯科健診	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供を行うこと。	○		○	○
季節性疾患 (タイプ3)	・重点取組事項ではないが、加減算の指標の1つである。	3-6	予防接種の実施	インフルエンザ予防接種等の負担軽減を実施することで、感染予防を行うこと。	○		○	
その他 (共通)	・組合員等の年齢及び性別等に応じた効果的かつ効果的な事業	4-1	健康相談	心と身体全般に関する相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、悩みや不安を解消すること。			○	○
		4-2	個人の予防・健康づくりに向けたインセンティブ	健康に関する問題意識の喚起及び行動変容を実現するよう援助すること。	○	○		
		4-3	職場環境の整備（コラボヘルス）の推進	組合員が保健事業に参加しやすい職場環境を醸成し、個々の組合員が健康づくりに自主的に取り組みやすい環境が職場において実現すること。	○	○	○	○

②これまでの事業（既存事業）の整理

健康課題	これまでの事業		必要と考えられる保健事業の対応No	事業内容	実施 (共済/事業主/共同)	対象者						事業予算 (29年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	継続有 無	継続する場合：課題があれば改善策 継続しない場合：理由
	IN 名称	No				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢				
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者・任継/受診券を配布	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	17,448	被扶養者受診率が低い	有	被扶養者への情報提供・受診勧奨方法の検討が必要
	2	(特)人間ドック	1-1	人間ドック受診（1日・1泊2日）費用の一部補助 ※年齢によって各年受診	県・共済	男女	年齢指定					58,949		有	
	3	被扶養配偶者人間ドック	1-1	人間ドック受診（1日）費用の一部補助	共済			男女	40歳以上			5,478		有	
	4	希望制人間ドック	1-1	人間ドック受診（1日）費用の一部補助	県・共済	男女	40歳以下					900		有	
	5	脳ドック	1-1	脳ドック受診費用の一部補助	県・共済	男女	すべて					4,525		有	
	6	骨密度検査	1-1	人間ドック内で実施	県・共済	女	39,46 51,56,60					1,183		有	
	7	特定保健指導 (外部委託)	1-2	特定健診結果による高リスク者への特定保健指導 (本部一括契約による外部委託)	共済	男女	40歳以上					6,502		有	
	8	特定保健指導 (人間ドック)	1-2	特定健診結果による高リスク者への特定保健指導 (人間ドック実施時に同時実施)	共済	男女	40歳以上					4,176		有	
	9	特定保健指導 (被扶養者・任意継続組合員)	1-2	特定健診結果による高リスク者へ特定保健指導利用券の配布	共済			男女	40歳以上	男女	40歳以上	668	受診率が低い	有	
	10	メタボ解消のための運動教室	1-4	メタボ解消のための運動教室を実施	共済	男女	すべて					198		有	
	11	健康増進セミナー	1-4	脂質異常症を改善するための食事と運動に関するセミナーを実施	共済	男女	すべて					562		有	
	12	生活習慣改善のためのパンフレット	1-4	生活習慣改善のためのパンフレットを配布	共済	男女	すべて					1,447		有	
	13	女性のための健康セミナー	1-4	女性のための健康セミナーを実施	共済	男女	すべて					323		有	
	14	人間ドック	1-7	人間ドック受診（1日）費用の一部補助	県・共済	男女	36歳,39歳					5,646		有	
	15	33歳総合健診	1-7	総合健診受診費用の一部補助	県・共済	男女	33歳					3,909		有	
	16	スポーツ施設利用補助	1-8	スポーツ施設利用を希望する組合員が、回数券を購入する際に 回数券購額の1/2を補助	共済	男女	すべて					741		有	
悪性新生物 (タイプ2)	1	大腸がん検診	2-2	人間ドック（1泊2日）内で実施	県・共済	男女	すべて				4,411		有		
	2	乳がん検診	2-4	人間ドック内で実施	県・共済	女	すべて				2,874		有		
	3	子宮がん検診	2-5	子宮がん検診の実施	県・共済	女	20歳以上 奇数年齢				5,217		有		
	4	P E T 検査	2-6	P E T 検査の実施	県・共済	男女	すべて				4,116		有		
	5	腫瘍マーカー検査	2-6	人間ドック内で実施	県・共済	男女	41歳以上				4,812		有		
	6	健康相談リーフレット	2-7	子宮頸がんに関するリーフレットを配付	共済	女	検診受診者				51		有		
精神の疾病 (タイプ3)	1	カウンセリング（臨床心理士）相談	3-1	カウンセリング相談を相談機関へ委託し実施	共済	男女	すべて				1,120		有		
	2	メンタルヘルス研修会	3-2	参加者がメンタルヘルスケアに関する必要な知識を獲得し、 必要な意思決定ができるよう研修会を開催	共済	男女	すべて				219		有		
	3	ストレス対応機器貸出	3-2	ストレス対応機器を活用し、各種セミナーでのチェックや 各所属所へ貸し出すことで、ストレスへの気づきやセルフケアを実施	共済	男女	すべて				150		有		
	4	健康知識宅配便 リーフレット配付	3-2	健康づくり啓発リーフレット(メンタルヘルス)を作成し、全組合員に配付	共済	男女	すべて				440		有		
歯の疾病 (タイプ3)	1	歯の健康リーフレット配布	3-4	歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報提供	共済	男女	検診受診者				830		有		
	2	歯科健診	3-5	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供	共済	男女	30,40,45 50,55,60				1,373		有		
その他 (共通)	1	健康管理ファイル配付	-	日頃の健康管理に活用してもらうために、 組合員に健康管理ファイルを配付	共済	男女	新規採用者				303		有		
	2	リフレッシュ旅行補助 (宿泊・日帰り)	-	公立学校共済組合施設及び契約施設での宿泊に対する補助 および公立学校共済組合指定施設での日帰り利用券の購入補助	共済	男女	すべて				2,000		有		
	3	ライフプランセミナー	-	講習会を開き、健康管理、いきがいを含めた生涯設計を支援	共済	男女	40歳以上・ 退職予定者				800		有		
	4	教職員健康相談 2 4	4-1	健康等の相談について、保健師等の専門家が24時間、365日対応	共済	男女	すべて				本部事業		有		

④今後実施する事業

健康課題	事業		必要と考えられる 保健事業の対 応No	事業内容	実施 (共済/事業主/共 同)	対象者					決算 (R2年度) 単位：千円	実施状況 (目的に照らして内容は適切か、課題等)	既存/新規	継続事業：課題があれば改善策 新規事業：成功のために必要な事項	
	No	名称				被保険者		被扶養者		任継					
						性別	年齢	性別	年齢	性別					年齢
生活習慣病 (タイプ1)	1	特定健康診査	1-1	被保険者/人間ドック・定期健康診断結果の受領 被扶養者・任継/受診券を配布	共済	男女	40歳以上	男女	40歳以上	男女	40歳以上	6,016	被扶養者・任意継続組合員の受診率が低い	既存	情報提供・受診勧奨方法の検討が必要
	2	(特)人間ドック	1-1	人間ドック受診(1日・1泊2日)費用の一部補助 ※年齢によって各年受診	県・共済	男女	年齢指定					52,294		既存	
	3	被扶養配偶者人間ドック	1-1	人間ドック受診(1日)費用の一部補助	共済			男女	40歳以上			4,431		既存	
	4	40歳未満対象人間ドック (希望制・33、36、39歳)	1-1	人間ドック受診(1日)費用の一部補助	県・共済	男女	40歳以下					9,750		既存	
	5	脳ドック	1-1	脳ドック受診費用の一部補助	県・共済	男女	すべて					4,739		既存	
	6	骨密度検査	1-1	人間ドック内で実施	県・共済	女	39,46 51,56,60					1,218		既存	
	7	特定保健指導 (外部委託)	1-2	特定健診結果による高リスク者への特定保健指導 (本部一括契約による外部委託)	共済	男女	40歳以上					5,443		既存	
	8	特定保健指導 (人間ドック)	1-2	特定健診結果による高リスク者への特定保健指導 (人間ドック実施時に同時実施)	共済	男女	40歳以上					2,011		既存	
	9	特定保健指導 (被扶養者・任意継続組合員)	1-2	特定健診結果による高リスク者へ特定保健指導 (利用券配布による集合契約医療機関での受診)	共済			男女	40歳以上	男女	40歳以上	0	被扶養者・任意継続組合員の受診率が低い	既存	情報提供・受診勧奨方法の検討が必要
	10	特定健診結果個別通知	1-3	健診結果から自らの健康状況を認識するとともに、健康な生活習慣の重要性 に対する理解と関心を深め、主体的に健康の維持・改善活動を行うきっかけと なるよう個別通知を送付する。(事業主健診受診者1,700人)	共済	男女	40歳以上					2,114		既存	
	11	食事改善と運動による健康増進セミナー	1-4	1日セミナーで高血圧性疾患、脂質異常症を改善するための食事と運動に関 するセミナーを実施	共済	男女	すべて					55		既存	コロナ禍対応が必要
	12	生活習慣改善のためのパンフレット	1-4	生活習慣改善のためのパンフレットを配布	共済	男女	すべて					54		既存	
	13	スポーツ施設利用補助	1-8	スポーツ施設利用を希望する組合員が、回数券を購入する際に回数券購額 の1/2を補助	共済	男女	すべて					173		既存	
	14	ウォーキンググランプリ	1-8	大会形式で歩数を表彰・参加賞を配布し、組合員の運動習慣のきっかけを作 る。	共済	男女	すべて					505		既存	
悪性新生物 (タイプ2)	1	大腸がん検診	2-2	人間ドック(1泊2日)内で実施	県・共済	男女	すべて					3,104		既存	
	2	乳がん検診	2-4	人間ドック内で実施	県・共済	女	すべて					2,263		既存	
	3	子宮がん検診	2-5	子宮がん検診の実施	県・共済	女	20歳以上 奇数年齢					2,882		既存	
	4	P E T 検査	2-6	P E T 検査の実施	県・共済	男女	すべて					4,039		既存	
	5	採血検診(腫瘍マーカー検査)	2-6	人間ドック内で実施	県・共済	男女	41歳以上					4,904		既存	
精神の疾病 (タイプ3)	1	カウンセリング(臨床心理士)相談	3-1	カウンセリング相談を相談機関へ委託し実施	共済	男女	すべて					1,248		既存	
	2	メンタルヘルス・セルフケア研修会	3-2	参加者がメンタルヘルスケアに関する必要な知識を獲得し、 必要な意思決定ができるよう研修会を開催。 また、ストレスケアのためのセルフケア手法についても同時に学ぶ。	共済	男女	すべて					0	令和2年度はコロナ禍により開催中止	既存	コロナ禍対応が必要
	3	ストレス対応機器貸出	3-2	ストレス対応機器を活用し、各種セミナーでのチェックや 各所属所へ貸し出すことで、ストレスへの気づきやセルフケアを実施	共済	男女	すべて					10		既存	
	4	健康知識宅配便 リーフレット配付	3-2	健康づくり啓発リーフレット(メンタルヘルス)を作成し、全組合員に配付	共済	男女	すべて					474		既存	
歯の疾病 (タイプ3)	1	歯の健康リーフレット配布	3-4	歯科疾患の予防に関する注意喚起の情報提供	共済	男女	検診受診者					0	パンフレットは数年周期で重点事業のものを配布	既存	
	2	歯科検診	3-5	う蝕や歯肉炎の早期発見の機会提供	共済	男女	30,40,45 50,55,60					4,039		既存	
その他 (共通)	1	健康管理ファイル配付	-	日頃の健康管理に活用してもらうために、 組合員に健康管理ファイルを配付	共済	男女	新規採用者					0	令和元年より事業廃止	既存	
	2	リフレッシュ旅行補助 (宿泊・日帰り)	-	公立学校共済組合施設及び契約施設での宿泊に対する補助 および公立学校共済組合指定施設での日帰り利用券の購入補助	共済	男女	すべて					2,362		既存	
	3	ライフプランセミナー	-	講習会を開き、健康管理、いきいを含めた生涯設計を支援	共済	男女	40歳以上・ 退職予定者					0		既存	

